

三沢市復興計画(案)に対する意見とそれに対する考え方について

三沢市復興計画(案)に対するパブリックコメントにおいて、提出された意見とそれに対する市の考え方は次のとおりであります。

[実施期間:平成23年12月2日～12月15日、意見提出者数:1名]

No.	区分	案に対する意見	意見に対する考え方
1	災害に強い都市基盤づくり	<p>自分の家は津波により、小屋1棟とハウス1棟が津波により流されました。住居については1階の窓まで津波が来ていましたが幸いなことに被害はありませんでした。しかし、今の現状のまま次に同じような規模の津波またはそれ以下でも被害は大きくなるだろうと思っています。</p> <p>津波を防ぐ防潮林や防波堤の強化は凄く重要だと思います。被害にあったのは川からきた津波の影響もありました。それらの植林や建設をする際に川の津波の力が倍増しないような計画で実施してもらいたいです。</p> <p>また、家にきた津波は近隣の小屋や建設現場のものや立ち木を流し、車で家に入る唯一の道路を塞ぎました。でも、これらのおかげで波の力が弱まり自分の家や隣近所の住居への被害もないまたは少なくすんだとも思っています。津波で流された部分にはほぼ何もない状況で、遮るものがない津波の力は倍増すると思います。それらの事も踏まえて津波対策をお願いしたいです。</p>	<p>今回の津波について、保安林や防波堤の効果により、津波の勢いが弱まり、相当の被害の軽減につながったと認識しております。従って「災害に強い都市基盤づくり」の観点から、保安林や防波堤などの海岸保全施設の早期復旧・強化に努めます。</p>
2	災害に強い都市基盤づくり	<p>それぞれの家の避難経路を見た上での経路の策定や避難施設の建設をお願いしたいです。</p> <p>家は歩いて逃げる際は隣の家の庭を横切れば国道までは出れますが、車で逃げようとするれば防潮林側の道においてから上にあがらないといけません。もしも、車で逃げられなかった際に避難場所となっている三沢二中までの道のりなども踏まえていただければお願いしたいです。</p>	<p>市民の避難実態や方法を分析し、効果的な避難路や避難場所の指定・整備、標識などの設置を検討します。</p>
3	災害に強い都市基盤づくり	<p>三川目保育所についても今回の津波は保育所からも見れる位置まで来ています。もし次がきた際の事を考え移設を検討した方が良いと思います。</p> <p>今回の津波の被害場所や今後の津波の規模を考慮した住居移転についてはぜひ実施してもらいたいと強く望みます。</p>	<p>青森県が行う新たな津波シミュレーションに基づき、想定浸水区域あるいは避難困難区域であることが判明した場合には、当事者と協議しながら検討します。</p>

No.	区 分	案に対する意見	意見に対する考え方
4	災害に強い都市基盤づくり	<p>住居などが移転対象となった際に、もしも そこに何もなかったらどこまでその規模の津波が来るのかや、もしきた際のための防潮林や防波堤の建設はどこまで幅を持たせた方が良いのかなども考慮してお願いしたいです。</p> <p>自分達でできる避難経路やもしもの時の集合場所や備えはしているつもりですが、できればこの不安な状況が少しでも少なくなるような復興計画の実施をお願いしたいです。</p>	<p>住居などが移転となった場合の跡地には、保安林などの災害に強い都市基盤の整備に努めます。</p> <p>いずれにいたしましても、すべての市民が安全で安心して暮らしていくことができる「災害に強い都市基盤づくり」を推進します。</p>